

MiraQ LETTER

一般社団法人未来に輝く企業づくり研究会

VOL.
12
2026.03

Introduction

定例研究会第12回が開催！

2026年3月12日(木) MiraQ定例研究会の第11回が開催されました。今回は、現地16名、オンライン2名の方にご参加いただきました！年度末のお忙しいところ、ご参加頂きましてありがとうございます。3月のテーマは「キャリア教育」。キャリアという言葉を知ると、多くの方は「仕事」を思い浮かべるかもしれませんが、しかし本来キャリアとは、仕事だけではなく人生全体の歩みを含む概念でもあります。



Discussion①

これまでの仕事人生で最も

“手応え”や“やりがい”を感じた瞬間は

どんな時でしたか？その時、あなたのどのような価値観が満たされましたか？

多くの方に共通していたのは、「相手に感謝されたとき」という意見でした。やはり、自分の行動によって誰かが喜んでくれる。それが仕事の大きなやりがいにつながるのかもしれませんが。また、自分なりに工夫したプロセスが評価されたとき・やったことのない仕事を任せられたとき・自分のアイデアが採用されたときなども、モチベーションが一気に上がる瞬間として挙げられていました。

【参加者の意見】

「自分がキャリアアップのために何を思っているか、口に出すことで再認識できた」Yさん

「自分の価値観が満たされる→あまり考えたことがなく、また深掘りをもっと考えたことがなく、深掘りすること、自分で自分を理解することは必要なのだと感じた。」Hさん

「メンバー全員の価値観の共通項として「主体性(自分の裁量の大きさ=やりがい)」というところがあった。価値観が似ているとうれしい。」Kさん

個人的に印象的だった意見は、

- ・頼りにされていると感じたとき
 - ・自分の行動がきっかけで人間関係が良くなったとき
- といった声です。

「嬉しい」という感情の背景には、自分の価値観や大切にしているものが隠れていることがあります。単に「嬉しかった」で終わるのではなく、なぜ自分は嬉しいと感じたのかを考えることで、自分の内的キャリアに気づくことができるのかもしれませんが。

Discussion②

あなたが描いたキャリアビジョンを実現するために

明日から変える具体的な行動は何ですか？

チームからどのようなサポートがあれば実行しやすいですか？

後半では「キャリアビジョン」について考えました。理想の未来を描き、そこから逆算して現在の行動を考える。これはキャリアを考えるうえで非常に重要な視点です。しかし同時に、キャリアは必ずしも計画通りに進むものばかりではありません。研究会では「計画的偶発性理論」という考え方も紹介されました。これは、偶然の出来事や出会いがキャリアを大きく変えることがある、という考え方です。新しい機会に柔軟に向き合う姿勢も大切だということ改めて学ぶことができました。

【参加者の意見】

「自己分析から自身の価値観を正しく理解できればキャリア形成に役立つと理解しました。」Kさん

「キャリアビジョンについてみなさん最終的には組織のビジョンに向かっていて話しており面白かったです。また業務における課題や風土について話されており刺激を受けました。」Nさん

「総括した意見の中に『他者あつてのキャリア』『仕事のキャリアは生活と連動しているからある時とない時、緩急つくよね』というニュアンスの話が出て受け入れやすかった。」Kさん

今回の研究会を通して感じたのは、キャリア教育とは単に個人の成長を促すものではなく、組織と個人の関係性を深めるものでもあるということです。

社員一人ひとりが自分の価値観や未来を考え、それを組織と共有していく。

その過程で相互理解が生まれ、信頼関係が育まれていく。キャリア教育は、これからの組織づくりにおいて重要なテーマの一つなのかもしれません。

次回案内

【テーマ】「事業発展のために」

【日時】2026年4月9日(木) 16:00~18:00

【会場】エル・おおさか 南101 もしくは オンライン

MiraQの定例研究会も初年度の12回を無事に完了することができました。毎月の定例研究会にご参加くださった皆様ありがとうございました。1年間継続して成果もありましたが、課題も多く見つかりました。2年目の定例研究会は更にアップデートして、より実践を意識した定例研究会にしていきます。引き続きよろしくお祈りします。

